

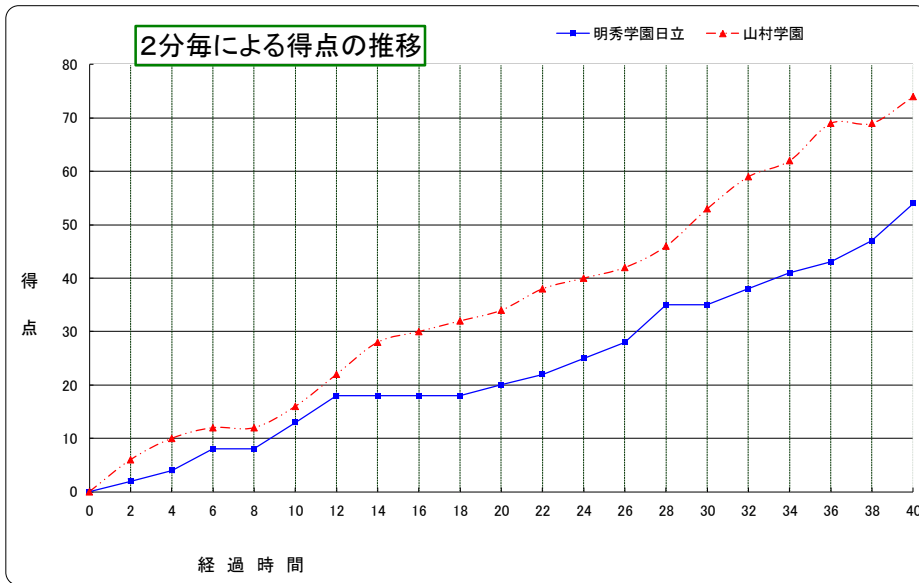
# 平成24年度第66回関東高等学校 女子バスケットボール選手権

平成24年6月10日(日)  
さいたま市記念総合体育館  
Aブロック準決勝

チームA			チームB
明秀学園日立 (茨城)	54	{	山村学園 (埼玉)
		13 1st 16 7 2nd 18 15 3rd 19 19 4th 21	74

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	稲葉 夏海	10	0	0	2	16	6	8	3	7	10	2	1	0	4
5	大貫 詩織	12	2	5	3	10	0	0	3	3	2	1	1	0	5
6	中尾 友美	13	0	0	5	17	3	6	4	7	11	1	0	3	5
7	柳沢 夏希	8	2	11	1	5	0	0	1	5	4	2	6	0	6
8	田崎 由真														
9	中川 佳苗	5	1	4	0	3	2	2	2	3	2	2	1	0	1
10	小田部 なな	3	0	1	1	2	1	2	0	0	1	0	0	0	1
11	余多分 茜音	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
12	中野 由唯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	前田 沙綺														
14	大山 千晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
15	樋本 さち	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	小野 紗也加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
17	堀井 美沙子														
18	福田 恵梨														
コーチ	筑 波 大									1	3				1
		54	6	22	12	54	12	18	14	26	33	8	10	3	24
		確率	27.3%		22.2%		66.7%			計 59					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	増岡 加奈子	32	0	2	14	29	4	4	1	0	7	4	4	2	2
5	上原 もなみ	9	0	2	4	6	1	2	3	4	2	4	2	0	4
6	落合 里夏	12	2	6	1	4	4	4	4	4	8	5	0	1	3
7	鶴田 梨乃	6	0	0	3	8	0	0	3	3	5	3	2	1	3
8	伊東 澄	11	0	0	5	17	1	2	3	4	4	0	0	0	1
9	佐藤 朱莉	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
10	太田 絢奈														
11	真渡 未来	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
12	土屋 早織														
13	内田 彩織	2	0	0	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
14	佐藤 楠探	2	0	0	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0
15	坂本 共江														
16	岡澤 怜奈														
17	志村 純														
18	野口 マミ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
コーチ	下 田 宏 吉									0	4				2
		74	2	11	29	69	10	12	17	17	32	16	8	4	16
		確率	18.2%		42.0%		83.3%			計 49					



## 戦評

関東新人大会優勝の山村学園に対して、昨日接戦を制し勢いにのる明秀日立がどう戦うかが注目される一戦である。

第1P、両チーム共マンツーマンディフェンスでゲームをスタートする。山村学園は#4増岡を中心に攻撃し、ドライブインシュートで着実に得点しリードをする。一方明秀日立もエースの#6中尾にボールを入れて得点を狙うが、相手にマークされ攻め手を失い苦しむ。しかし#4稲葉がファールをもらいフリースローを決め、何とか喰らいつく。山村学園が3点リード第1Pを終了する。

第2P、山村学園は#4増岡のミドルシュートで得点し流れに乗る。更に#8伊東のミドルシュートも決まりだしリードを広げる。離されたくない明秀日立はインサイドにパスを入れて得点を狙うが、いつものオフェンスをさせてもらえず第2Pは7点に抑えられる。山村学園もシュートの決定率が上がらず得点が伸びないがオフェンスリバウンドを取り、リードを広げる。山村学園14点リードで前半を終了する。

第3P、開始直後から明秀日立はオフェンスでの動きがよくなり、思い切りのよいシュートを打ち始める。#5大貫、#9中川の3Pシュートで得点し、点差を詰める。残り3分、スティールからアンスポーツマンファールを得て11点差となり流れを引き寄せるチャンスが来る。しかし山村学園の堅いディフェンスに阻まれ得点を許し、山村学園18点差で終了する。

第4P、点差を詰めたい明秀日立であったが、山村学園#4増岡のミドルシュート、#5上原のレイアップシュートを許し、逆にリードを広げられてしまう。山村学園は残り3分スターティングメンバーをベンチに下げるが、点差を縮められることはなく、試合終了となる。終始試合を有利に進めた山村学園が決勝進出を決めた。

記録者: 祐木 毅

Ref	清水 幹治	1st U	三好 啓太	2nd U	望月 由希子
-----	-------	-------	-------	-------	--------